

担当教員

カワクボ フミノリ
川久保 文紀

春semester科目名

単位数

秋semester科目名

単位数

平和学Ⅰ
(広島・長崎講座)

2

平和学Ⅱ
(広島・長崎講座)

2

授業目的・到達目標

「戦争の世紀」であった20世紀の時代経験を歴史的に振り返り、平和学が誕生してきた背景やその学問的特質を学びます。効果的に視聴覚教材を用います。国際面を中心とした新聞記事などの解説も随時取り入れます。なお、本講義は2015年度に公益財団法人広島平和センターより「広島・長崎講座」として認定されました。

「人間の安全保障」を中心的テーマとして、「構造的暴力」をめぐる諸問題に多角的にアプローチしたいと思えます。効果的に視聴覚教材を用います。国際面を中心とした新聞記事などの解説も随時取り入れます。

授業計画

第1回	20世紀の時代経験—戦争の世紀	第1回	新しい平和学
第2回	20世紀という時代①十五年戦争	第2回	「人間の安全保障」について考える①
第3回	20世紀という時代②第一次・第二次大戦	第3回	「人間の安全保障」について考える②
第4回	ニュルンベルグ裁判と東京裁判—戦争犯罪と「戦後和解」	第4回	国連と平和
第5回	20世紀という時代③植民地独立と冷戦	第5回	貧困と飢餓から考える：アフリカの世紀
第6回	20世紀という時代④ベトナム・朝鮮戦争	第6回	難民の世紀：UNHCRの活動を通して
第7回	平和学とはどのような学問か①歴史と展開	第7回	資源をめぐる戦争①資源ナショナリズム
第8回	平和学とはどのような学問か②「構造的暴力」とは何か	第8回	資源をめぐる戦争②水をめぐる戦争
第9回	ヒロシマ・ナガサキから考える平和	第9回	国際正義と平和構築—正義は国境を越えるか
第10回	オキナワと米軍基地から考える平和	第10回	子ども兵と戦争
第11回	「核密約」とは何か	第11回	地球温暖化の平和学①
第12回	「核なき世界」の理想と現実	第12回	地球温暖化の平和学②
第13回	湯川秀樹博士からのメッセージ	第13回	開発と平和
第14回	9・11テロと「新しい戦争」	第14回	ジェンダーと平和
第15回	9・11テロ以後の監視社会	第15回	グローバル・ガバナンスの平和学

成績評価方法・基準

出席：50% 小テスト： %
レポート： % 定期試験：50%
その他：

テキスト・参考書

担当者が作成・配布するオリジナル・プリントにもとづいて講義を行います。適宜以下を使用する。滝田・大芝・都留編『国際関係学』有信堂、2015年。

準備学習等

- ・現代政治や国際政治の動向について、日頃からニュース・新聞等で把握しておくことが望ましい。
- ・授業中のマナーに気を付けること。携帯（とくにメール）、私語は、とくに厳禁。マナーが悪い場合は、減点の対象になることはいふまでもない。遅刻についても同様である。
- ・体調が悪い場合などを除き、教室の途中入退室は認めない。
- ・「内職」などをみつけた場合、厳しく対処する。
- ・一人おきに席に座ること。